

「みんなが主役」のまちづくりへ

妹川地区自治協議会の紹介

～全11の自治協議会が地区を紹介～

(No. 1)

「♪巨瀬の源、溪流に…♪」

これは、妹川小学校校歌の歌い出しの歌詞ですが、筑後川の合流地点から24km遡ったところに巨瀬川の源流の森があります。今年2月、魚返りの滝の側に『筑後川源流の碑』が建立されました。この巨瀬川上流域の中山間地に点在する5つの自治会の集まりが妹川地区自治協議会の活動の拠点です。うきは市の西部に位置し八女市星野村と境を接しています。巨瀬の流れの中にいくつもの滝と、公園があり、ダムがありその下流にまた、公園が広がっています。一方、福岡県の主要地方道でもあります県道八女・香春線（延長約90km）が各集落を結びながら走っています。いま、八女市星野村との境に合瀬耳納トンネル工事が進んでいます。完成後は交流人口の増加が見込まれ、地域の活性化に繋がることを期待しています。



▲魚返りの滝近くに立てられた「筑後川源流の碑」（調音の滝の上流）

さて、自治会組織発足後3年目に入りましたが、これまで年を追うごとに人口の流失と高齢化、農地や山林の荒廃化が進んでまいりました。

『豊かな自然を活かし、若者の定住と交流人口を増やす、活気あるまち 妹川』

これは、昨年度策定いたしました地域計画での妹川地区がめざす目標です。今後10年間で計画を実行し地区の過疎化にどれだけブレーキをかけられるかが課題です。

この計画推進のため、事務局体制の強化も課題になると思われます。



▲堀江会長（右から2人目）ほか事務局のみなさん

●問合せ 市民協働推進課 コミ
ユニティ支援係 TEL 75-4982

建物の名称	妹川コミュニティセンター（巨瀬の里会館）
所在地	浮羽町妹川 2329 番地 5
電話番号	(0943) 77-7660 ※ファクスも同じ
役員等	【会長】 堀江繁樹 【副会長】 矢野田公喜 【事務局長】 國武俊光 【事務局員】 樋水幸栄、水城薫
開館日時	月～金曜日 8:30～17:15
主な活動	全体 (9月) 校区敬老会・ふれあい福祉大会 (11月) 校区子育てと教育を進める集い・女性部研修会（講演会） (1月) ふれあい餅つき大会 自治会行事 (4月) 菊まつり（持木地区）・シャクナゲ祭（櫻ヶ平地区） (7月) 調音の滝ソーメン流し（元有地区） (9月) 彼岸花鑑賞（尼ヶ瀬地区）

「みんなが主役」のまちづくりへ

新川地区自治協議会の紹介

～全11の自治協議会が地区を紹介～

(No. 2)

新川地区は8集落から構成されています。人口が305人(117戸)で高齢率が47.5%です。主な産業は、林業・農業(米・お茶)です。

以前は木材の販売価格が高かったため、必要があれば木を伐採して資金を確保して生活していましたが、今は材木価格の低迷で非常に厳しい状況です。地区の若い人はほとんどがサラリーマンになり、年輩の人たちで田園を守っています。そんな中で田園を荒らしてはいけないと、有志達が「つづら棚田を守る会」を発足し棚田の一部を作付し、美しい景観を継承しています。また、都市と山村交流プロジェクトも始動し、山里の生活や自然の魅力を都会の方たちに伝えていきます。

その他にも「花づくりから地域住民のコミュニケーション」を目指して花いっぱい運動を3集落で実施中です。春はスイセン、夏は幸せの黄色いヒマワリ、秋にはコスモスが集落を彩ります。



▲棚田のあぜに4月頃開花するスイセン

この地域の課題は、人口減少と少子高齢化。また、地域の特産品がなく生活するためには、どうしても地域から離れていくのが現状です。しかし、それを悲観するだけではなく、地域の人たちが支え合いつながり、楽しめるイベント等を通して特色ある新川地区にしていきたいと思えます。

建物の名称	新川コミュニティセンター(新川ふるさと会館)
所在地	浮羽町新川 2515 番地
電話番号	(0943) 77-6557 ※ファクスも同じ
役員等	[会長] 堤壽夫 [事務局長] 松木高雄 [事務局員] 樋口安則
開館日時	月～金曜日 8:30～17:15
主な活動	4月総会・福祉委員辞令交付・花いっぱい運動 5月花いっぱい運動(植え付け) 6月賞鑑賞会・村おこし学級・父ちゃん/じいちゃん料理教室 7月新川よど・花いっぱい運動 8月新川写真展 9月彼岸花めぐり&ばさら祭 10月棚田のお月見会・敬老会・グラウンドゴルフ大会・父ちゃん料理教室・花いっぱい運動(生け花) 11月姫治小学校餅つき大会・先進地視察 12月福祉大会・しめ縄飾り・生け花教室・内ヶ原山ホテル 1月鬼火たき 2月新川、田籠地区グラウンドゴルフ大会 3月各部会総会・役員改選



▲堤会長(中央)と事務局のみなさん

●問合せ 市民協働推進課
ユニティ支援係 Tel 7554982

「みんなが主役」のまちづくりへ

田箒地区自治協議会の紹介

〈全11の自治協議会が地区を紹介〉

(No. 3)

私たちの田箒地区自治協議会は、市内11の地区自治協議会のうち、最も小さい協議会です。活動内容はおおむねこれまでの公民館活動を踏襲しています。

特色ある活動を紹介します。昨年10月に「福祉大会」を行いました。戦後から今日までに田箒で「なくなったもの」は、保育所、学校、医院、商店、からうす、タライなどなど。高齢者の参加が多かったのが、「なくなったもの」の思い出話で大いに盛り上がりました。生活や産業などの変化の大きさを改めて認識しました。

次に、16回目の「やまめの里まつり」を3月に行いました。九州北部豪雨災害のため3回休んでいましたので復旧記念として釣り人待望の行事です。上々の天気で参加者が多く一般の人とも立ち寄り、無料で提供したご飯と豚汁は数が不足するくらい。ヤマメの塩焼き、焼き鳥、野菜の販売も大好評でした。地元民の打ち上げは、もちろん大盛況でした。

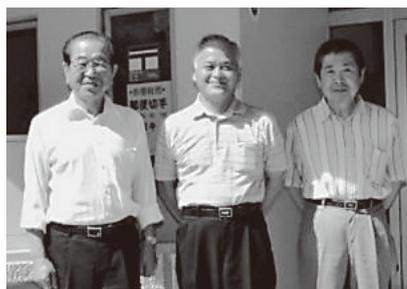


▲地域のつながり深める田箒大運動

3番目に住民総出の「田箒大運動会」です。今年5月で35回になりました。運動会を始めた頃は住民が多く、参加者も多かったのですが、次第に少なくなってきました。一方、親戚や山村留学生の関係者の参加が増えてきました。種目は午前中に玉入れや障害物競争などいろいろあります。いくつかは田箒内の集落対抗です。来賓も出番は多く、ほとんどの種目に出場してもらいます。午前中に競技を終え、午後は参加者が車座になり大食事会。雨天でもコミュニティセンターの大広間で種目を工夫し、同じように行います。

これから田箒をどうつくっていくか。昨年度策定した地域計画の目標「景観保全に取り組み、自然豊かな田箒」をつくるために、各分野の活動を推進していきます。地域のみなさん方の理解と協力を得て、計画を進めていく必要があります。

●問合せ 市民協働推進課 コミュニティ支援係 TEL 7554982



▲平川会長（左）と事務局のみなさん

建物の名称	田箒コミュニティセンター
所在地	浮羽町田箒 1151 番地 1
電話番号	(0943) 77-6776 ※ファクスも同じ
役員等	[会長] 平川光臣 [事務局長] 樋口健次 [事務局員] 小塩高文
開館日時	月～金曜日 8:30～17:15
主な活動	9月敬老会 10月福祉大会 11月先進地視察 12月臨時総会(代議員会) 1月新年会 2月新川田箒グラウンドゴルフ 3月ヤマメの里まつり

「みんなが主役」のまちづくりへ

小塩地区自治協議会の紹介

～ 全11の自治協議会が地区を紹介～

(No.4)

今から24年先の2040年には、若年女性（20歳から39歳）の人口が50%以上減少し全国で896の自治体が消滅するといわれています。

日本の誰一人として経験したことのない少子・高齢社会の中、とりわけ中山間地においては少子・高齢化は著しく、我が小塩地区においても15歳以下の人口は40人、約6%に過ぎず、一方で65歳以上は290人全体の約45%を占めています。

小塩地区をはじめとする姫治地区は、高齢率が50%を超える行政区が5つもあり、集落によっては約7割に達する集落さえあります。いわゆる限界集落で、集落の維持・存続もできず、従って、人が生きていくための水や空気、そして食料を供給する森林や農地の保全が危うくなっています。

「10年ひと昔」といいますが、10年位はあっという間で、戦後ベビーブームの世代がやがて後期高齢者となれば、生産人口は大幅に減り、状況は極めて厳しいものと

なります。

時の大人たちは、10年、15年先を見据え今何をなすべきか？次世代から問われているといえます。

「身体は私なり 心は公なり」といいますが、この現実をしっかりと見据え、住民が協働しながら、自らの地域は自らの手で守る地域社会の実現を目指していかねばなりません。



▲佐藤会長（左から2人目）と事務局のみなさん
※撮影場所：キャンプができる「ホテルの里広場」（キャンプ利用は小塩地区自治協議会へ事前申込）

小塩地区では、都市との交流としての「大学との交流」「ホテルの里広場のキャンプ場化」また、「農政等懇談会」「ブランド推進会議」を立ち上げ、高齢者の生きがい・

健康づくりの一環として「道の駅への農産物の出荷」や「ふるさと体験」などを模索、さらには既存の「ほたるの里営農組合」と綿密な連携を図りながら、農地の保全、地域農産物のブランド化など中期を展望し取り組んでいます。

そこに人が居なければ、集落も農地も森林も守れません。日本の九割は地方です。地方なくして日本の再生はないと思います。今後とも自然溢れる我が郷土に誇りを持ち“住んで良かった、住んでみたい”誇れる「ふるさと小塩」を子々孫々まで残していかなければなりません。

●問合せ 市民協働推進課 コミュニティ支援係 7554982

建物の名称	小塩コミュニティセンター(小塩ほたるの里会館)
所在地	浮羽町小塩 2548 番地 1
電話番号	(0943) 77-4835 ※ファクスも同じ
役員等	[会長] 佐藤隆夫 [事務局長] 高浪真次 [事務局員] 山崎政利、宮崎三千明
開館日時	月～金曜日 8:30～17:15
主な活動	4月 総会・鯉のぼり(ホテル公園)、椎茸菌打ち体験 5月 戦没者慰霊式・田植え体験 6月 ホテル祭り・災害避難訓練 7月 親善ゴルフ大会 8月 ふるさと農道等整備 9月 グランドゴルフ大会・稲刈り体験 10月 福祉大会 11月 小塩ん村の秋祭り 12月 冬ホテル 1月 鬼火焚き 2月 研修会 3月 講演会

「みんなが主役」のまちづくりへ

山春地区自治協議会の紹介

～全11の自治協議会が地区を紹介～

(No.5)

私たちの山春地区は、うきは市の東部に位置し、大分県日田市に隣接する地区で、国道210号線や県道保木吉井線沿いを中心に17の行政区からなり、世帯数900戸、人口2,800人を数えるフルーツ栽培が盛んな地域です。

また、北部には筑後川が流れていて、約350年前の大庄屋「田代重栄」^{しげよし}親子が私財を投じて完成させた、約2kmの史跡的建造物「袋野隧道」^{ずいどう}があり、3年に一度の「袋野隧道探検」が実行委員の方々のお世話で開催されています。

さらには、210号線沿いの道の駅「うきは」に隣接する西見台には、国内では珍しい、農民劇団のギリシャ式野外円形劇場跡等があり、山春地区には歴史・文化・産業遺産等が数多く残っています。先人の残したこの「宝」を地域の活性化に活かせたらと思っております。



▲田尻会長（中央）と事務局のみなさん

『誰もが生き生きと安心して住める元気なまち山春』

これは昨年、山春地域計画策定委員会を組織し山春地域の目標として策定した山春の将来像です。この目標に向かって、山春の宝を活かしながら、住んでよかったと言えるまちづくりを目指していきたいと思っております。

住民の皆様方のご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

建物の名称	山春コミュニティセンター（山春みんな館）
所在地	浮羽町山北 783 番地
電話番号	(0943) 77-4699 ※ファクスも同じ
役員等	[会長] 田尻正範 [事務局長] 佐々木浩祐 [事務局員] 石井はる子
開館日時	月～金曜日 8:30～17:15
主な活動	4月：総会 6月：各部会研修会・救急救命講習会・福祉活動 7月：子ども会指導者懇談会・児童球技大会 8月：健康福祉部会視察研修・地域おこし講演会 10月：山春通学合宿・山春子育てと教育を進めるつどい「フルーツコンサート」・うきは祭り出店 11月：福祉のつどい 12月：健康福祉部会視察研修・福祉活動 1月：年頭献血 3月：ふれあいグラウンドゴルフ大会 通年：生活安全パトロール



▲人力で掘削されたトンネル（水路）を歩く「袋野隧道探検」

●問合せ 市民協働推進課 コミ
ユニティ支援係 Tel 7554982

「みんなが主役」のまちづくりへ

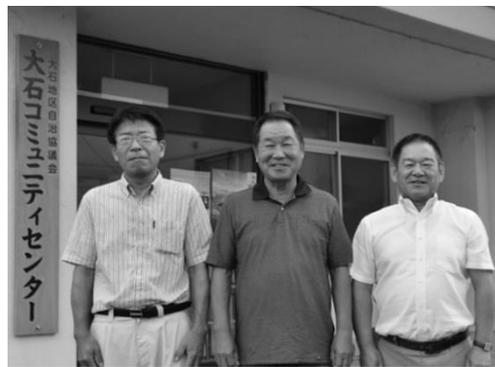
大石地区自治協議会の紹介

～全11の自治協議会が地区を紹介～

(No.6)

私たちの大石地区は、戸数 942戸、人口 2,723名(7月31日現在)であり18の行政区で構成されています。

ここ大石は五人の庄屋の功績で知られる大石堰や、景行天皇ゆかりの弓立神社など歴史と文化にあふれる地域です。自治協議会の活動は、とびうめ国体を記念しての駅伝競走(昨年度は市内・外から35チームが参加)や、今年で第61回を数える**凧あげ大会**など、旧公民館からの事業を継続するとともに、新たに、地区内の史跡を巡る**歴史探訪ウォーキング**や、女性部による**ファイバーリサイクル事業**(衣料品や小物のリサイクル)、**料理教室**等にも取り組んでいます。また、ふれあいセンター大石(健康福祉部会)でも大石地区**地域福祉講座**を新たに開設し、地域福祉の向上に取り組んでいます。



▲舎川会長(中央)と事務局のみなさん

大石地区自治協議会は、本年度から新たに2つの部会を立ち上げ5つの部会で活動しております。5年後、10年後の大石を見据えながら、昨年度に作成した地域計画の目標である「人と人とのつながりを大切に、世代を超えた笑顔あふれるまち大石」の実現に向け、地域の皆さんの協力を頂きながら、身近な事柄から活動を推進してまいります。

●問合せ 市民協働推進課 コミュニティ支援係 75-4982

建物の名称	大石コミュニティセンター
所在地	浮羽町古川 479 番地
電話番号	(0943) 77-7088 ※ファクスも同じ
役員等	〔会長〕 舎川博道 〔事務局長〕 原田清美 〔事務局員〕 篠原武英
開館日時	月～金曜日 8:30～17:15
主な活動	5月:総会、老人クラブグラウンドゴルフ大会、福祉委員研修(ふれあいセンター大石) 6月:ファイバーリサイクル事業・三世代交流 7月:子供会ソフトボール大会・地域振興部会先進地視察、料理教室(女性部会) 8月:弓立神社万年願奉納相撲大会 9月:歴史探訪ウォーキング 10月:分館対抗グラウンドゴルフ大会・老人クラブパークゴルフ大会 11月:福祉まつり 1月:大石堰駅伝競走大会・親子凧あげ大会・新春講演会 2月:シルバー男性料理教室(ふれあいセンター大石) 3月:菜の花ウォーキング大会



▲コミュニティセンターで開催されたファイバーリサイクル市

「みんなが主役」のまちづくりへ

御幸地区自治協議会の紹介

～全11の自治協議会が地区を紹介～

(No. 7)

私たちの御幸地区自治協議会は、御幸地区28の行政区を対象に世帯数2,512世帯、人口7,344人(市人口の約4分の1)を擁し、高齢化率30.3%です。

御幸小学校の校歌に「集う若人(わかしゅ) 一千人」という歌詞があります。事実、団塊の世代の方たちが在籍していた昭和30年代には、児童数が1,000名を超え、最高で1,120名いたそうです。現在は402名(平成28年4月現在)と、最高時の3分の1強なので他の自治協議会と同様に少子・高齢化の典型的な地域です。

自治協議会発足から3年目となり、これまでの公民館事業を継承・発展しながら、新たに「わんぱく寺子屋」を夏休み、冬休みに開設しました。この寺子屋は児童が自主的に学習に取り組んで「宿題を終わらせよう!」ということ

で、学校教諭OBの方たちにスタッフとして協力していただきながら夏に5日間、冬に3日間程度開

催。小学1年～6年生の約50名が参加した好評の事業です。「教育は学校、家庭、地域」と言われています。今後もスタッフのみなさんや学校と連携しながら、「地域」の部分を担当していきたいと考えています。



▲寺子屋で他学年の児童と一緒に机に向かう

高齢者対策は国、県、市町村、そして地域にとって今後の最大の課題であるかと思えます。高齢者が元気でなければ、御幸地区は元気になれません。そのためには地区のみなさんが健康でなければなりませんので、市、社協と連携し

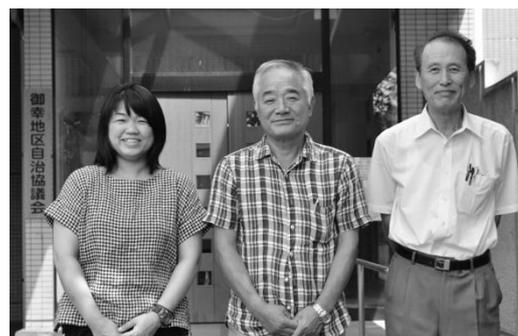
ながら会長である私自身も含め、健康づくりに取り組んでいきます。今年度から新たな取組の1つに、交流や健康・生きがいづくりなどが期待される「通いの場づくり」を、県のモデル事業として市の支援を受け、地区のみなさんと一緒に取り組んでいます。「自分で、そして健康は自分の地域で」ということで、次年度以降、各行政区での取組を目指しています。

昨年、御幸地区自治協議会の課題解決のための理念や方針、将来像を取りまとめた「御幸地区地域計画」を策定しました。来年度から実施される区長への委嘱廃止を契機に、そして「地域計画」を実現するため、現在、自治協議会を構成する組織の見直しを検討しています。その中で、特徴的な部会として「まちづくり部会」の新設を計画しており、その部会では御幸地区について多めに議論し、将来の御幸地区を考えていくことを期待しています。

地区の目標「地域の魅力と絆で老若男女が活き活きするまち 御幸」が実現できるよう、頑張っていきたいと思います。

●問合せ 市民協働推進課 コミュニティ支援係 Tel 75-4982

建物の名称	御幸コミュニティセンター
所在地	浮羽町朝田 389 番地 3
電話番号	(0943) 77-3367 ※ファクスも同じ
役員等	〔会 長〕 佐藤春義 〔事務局長〕 三善智子 〔事務局員〕 樋口隆三
開館日時	月～土曜日 8:30～17:15
主な活動	4月：定期総会 6月：防災講習会、学童ドッジボール大会、福祉委員研修会 7月：企画委員視察研修、わんぱく寺子屋(夏休み) 8月：わんぱくバス研修 9月：グラウンド・ゴルフ大会 10月：福祉大会、文化祭、うきは祭り出店 11月：子育てと教育を進める集い、ひとり金婚式祝福会 12月：女性部視察研修、わんぱく寺子屋(冬休み)、歳末たすけあい運動 1月：年頭たすけあい献血 通年(5月～翌年3月)：わんぱく教室開講、通いの場づくり『いきいきサロン』



▲佐藤会長(中央)と事務局のみなさん

「みんなが主役」のまちづくりへ

千年地区自治協議会の紹介

～全11の自治協議会が地区を紹介～

(No. 8)

私達の千年地区自治協議会は、千年地区20の行政区に1,751世帯、人口4,881人が居住し、高齢化率27・8%です。

千年地区には全国でも有名な日岡古墳や国の重要文化財指定の日岡古墳出土品等があります。

北側に流れる筑後川は川底低く、この地の田畑は干ばつ等で農作物ができない状況でした。農民の苦しむ姿を見て五人の庄屋は水路の計画を進め、寛文初年に命を懸けて農民とともに、水路工事を完成させました。現在も新川(南幹線・北幹線)の水路には満々と水が流れ肥沃な土地が広がっています。このように、千年地区にはいろんな文化財や史跡が残されています。一度先人の史跡を歩いてみませんか。

千年地区自治協議会の組織は、地域づくり部会・健康福祉部会・社会教育部会の3つの部会があり、12の部等で組織されています。

この自治協議会の会員は千年地区に居住されている全世帯が会員です。



▲須山会長(右)と林事務局長

うきは市では「市民と協働のまちづくり」が推進されています。

「自分たちの地域は自分たちでつくる」ことを基本に自助・互助・公助の組み合わせによって、お互いを補完し合いながら、地域課題の解決にあたるのが「協働」の基本となります。

《自助》個人や家族による支え。自分でできることは自分でする。
《互助》地域社会における相互扶助。隣近所や友人・知人と互いに支え合い・助け合う。

《公助》公的制度としての保護・

福祉・医療等のサービス提供。行政でしなければならぬことは、行政がしっかりと行う。

このような、課題解決のため、自治協議会が発足し、三年を迎えますが、まだまだ住民の皆さんには、自治協議会の内容をご理解いただけていない方もおられるようです。

千年地区でも、昨年、千年地区自治協議会で「地域計画」が作成されました。地域住民の防犯及び防災、高齢社会等の福祉及び健康増進、青少年の育成等々幾つもの課題が出されました。

この課題解決に向けて住民の皆様と一緒に進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

●問合せ 市民協働推進課 コミュニティ支援係 TEL 75-4982

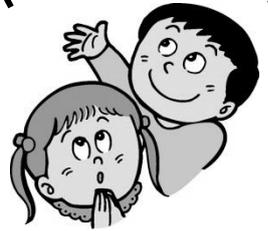
建物の名称	千年コミュニティセンター
所在地	吉井町千年245番地1
電話番号	(0943) 75-5622 ※ファクスも同じ
役員等	〔会長〕須山正光 〔事務局長〕林 三夫
開館日時	月～金曜日 8:30～17:15
主な活動	4月:分館対抗ソフトボール大会 5月:総会 7月:小・中学校との懇談会・福祉部委員会研修会・女性部研修会 8月:バイパス沿いコスモス種植え(ちとせコスモス街道・分館長会) 9月:分館対抗グラウンドゴルフ大会・女性部研修会 10月:福祉コスモス祭り・舟下り(五庄屋精神に学ぶ会) 11月:分館対抗ソフトボール大会・小学生さとうきび体験学習(さとうきび部会)・通学合宿 12月:地域づくり部会研修会 1月:保育園児お茶会 2月:子育てと教育を進める千年校区の会



山春産の牛乳、果物やお茶をたっぷり使用したソフトクリームなどを販売した山春地区自治協議会のブース

10月29日、30日に開催された「うきは祭り」に御幸、千年、山春の3自治協議会が参加しました。それぞれ、ホルモン焼き、さとうきびから作った黒砂糖、ソフトクリームなどを販売し地域の食文化や特産物を市内外にPRしました。

自治協議会の「1コマ」



吉井地区自治協議会は、吉井小学校区を基盤とし23の行政区（1640世帯）で構成されており、地区内には、内外に広く知られた白壁づくりの建造物（伝統的建造物群保存地区指定）が立ち並び、閑静な佇まいが漂っています。平成26年の自治協議会発足以来、「住民が集い、支え合い、協力し合う地域」を目指し様々な活動を続けておりますが、中でも、高齢者の健康づくり、生きがい作りのためにスタートしました「健康麻雀教室」は、うきは市全域に参加者を募り、現在50名の在籍者を数えるまでになるなど、大変ご好評をいただいております。昨年に続いて今年も2名の方がねんりんピック（全国福祉祭）に県代表として出場され、準優勝しました。また、今年度から新たに「憩いの場吉井」を開設し、住民の皆様が気軽に立ち寄られ、お話をされたり、カラオケを楽しまれたりしていただく場を設けております。

「みんなが主役」のまちづくりへ

吉井地区自治協議会の紹介

～全11の自治協議会が地区を紹介～

(No.9)



▲加藤会長（中央）と事務局のみなさん

公民館時代から引き続き行っている「通学合宿事業」や「鯉のぼり飾り付け事業」等も皆様からのいろいろなアドバイス等を加味して今後なお一層発展させていきたいとスタッフ一同大いに張りきっております。

吉井地区自治協議会は現在3つの部会と6つの専門委員会を組織されており、本年度は合わせて18の事業に取り組みまいります。住民の皆様のお力と、ご参加をお待ち申し上げます。

建物の名称	吉井コミュニティセンター（吉井白壁自治会館）
所在地	吉井町699番地1
電話番号	(0943) 75-5612 ※ファクスも同じ
役員等	[会長] 加藤一昭 [副会長] 田籠通保 樋口幸代 [事務局長] 山崎一親 [事務局補佐] 野崎暁子
開館日時	月～金曜日 8:30～17:15
主な活動	5月：総会 7月：学校みこし交流会 8月：一人暮らし高齢者声かけ訪問 10月：男の料理教室 一人暮らし高齢者交流会、通学合宿 11月：たのしかつ祭 12月：福祉講演会 1月：年頭献血 2月：福祉視察研修 3月：鯉のぼり飾り付け 通年：健康麻雀教室、憩いの場吉井 等



▲白壁の街並みをカラフルな鯉のぼりが泳ぐ「鯉のぼり飾り付け事業」

●このページの問合せ 市民協働推進課 コミュニティ支援係 TEL 7554982

「みんなが主役」のまちづくりへ

福富地区自治協議会の紹介

～全11の自治協議会が地区を紹介～

(No.10)

福富地区は、JR久大線以南に位置し(北側にも一部あり)、15行政区のなかに約4,100名が生活しています。

この地区には、古墳時代後期(6世紀)に造られた古墳が多数残っています。なかでも国の指定史跡「珍敷塚古墳」は壁面に特徴があり、古墳時代の信仰や思想の一端をうかがい知ることができる貴重な史跡です。

地形は耳納山麓と、そこから広がる田園地帯となっており、柿を中心とする果樹園芸が盛んな、水と緑に恵まれた自然豊かな地域となっています。

居住地域は、耳納山麓沿いの以前からの住宅地と、北部を中心とした新興住宅地が混在しています。このことは比較的高齢者が多い地域と若い世代が多い地域との違いにもつながり、住民意識の違いにも少し影響しているかもしれません。



▲古賀会長(左から2人目)と副会長、事務局のみなさん

このような中、福富地区には少子高齢化・核家族化に伴う課題、さらに、災害に対する備えや、地域文化の継承、あるいは地域振興及び住民交流などさまざまな課題があります。

現在、来年3月の完成を目指して新しいコミュニティセンターの建設が進められています。今後新しいコミュニティセンターを拠点に、これらの課題解決に向けて地域の皆さんと一体となって具体的な取組を進めていきたいと思えます。

建物の名称	福富コミュニティセンター
所在地	吉井町福益 1607 番地 1 (現在コミュニティセンター建設中のため西延寿寺公民館内: 福益 1696 番地 1)
電話番号	(0943) 76-5771 ※ファクスも同じ
役員等	〔会長〕 古賀淳二 〔副会長〕 内山博文 〔事務局長〕 角田清文 〔事務局員〕 江藤ツネヨ
開館日時	月～金曜日 8:30～17:15
主な活動	4月:各部会、総会 5月:さつま芋植え 7月:福祉委員・民生委員視察研修 8月:講演会 9月:分館対抗グラウンドゴルフ大会、サルビア県道展示、女性部視察研修 10月:一人暮らし高齢者交流会、さつま芋掘り 11月:お芋祭り 1月:新春餅つき大会 2月:歴史探訪、地域部会視察研修 3月:柿大将百年公園桜まつり



▲県道沿い約4キロを真っ赤なサルビアが彩る「サルビア展示」

●問合せ 市民協働推進課 コミ
ユニティ支援係 Tel 75-4982

「みんなが主役」のまちづくりへ

江南地区自治協議会の紹介

～全11の自治協議会が地区を紹介～

(No.11)

五庄屋のふるさと「江南」

江南は今から350年程前、干ばつに苦しむ農民を救おうと、身代を賭して立ち上がり、大石・長野水道を開削した五庄屋の生誕した地です。

その恩恵を受け、米・麦・トマト・花卉の栽培が盛んな豊かな田園地帯ではありますが、近年、全国的な流れである少子高齢化・核家族化が非常な勢いで進んでいる地でもあります。

そのような中で地域の目標である「安全・安心、笑顔でつながるコミュニティ」を目指して活動を行っています。

地域の和を大事にするため、ふれあい交流活動であるカラオケ大会、三世代グラウンドゴルフ大会、バレーボール大会、講演会等、また、今年からはゴルフ大会も行っています。さらに地域一体となったものにしていかねばならないと思っています。



▲國武会長（中央）と事務局のみなさん

その他にも、公民館の時から続けている各種講座（太極拳・男の料理・フラワーアレンジメント・季節の料理・吟詠教室等）を開講していますし、他の新規の講座等も取り入れていく予定です。

今、当面する課題としては、市の区長委嘱の廃止がなされますが、今まで以上に区長さんをはじめとする行政区役員を含めた皆さんが、自治協議会に参加しやすいような組織体制を作っていくかねばならないと検討しているところです。

何事にも誠意をもって事に当たりそれを貫いていくという五庄屋の精神、小学校の校訓でもある「至誠一貫」。コミュニティセンターの名称も「至誠館」であり、住みよい・住んで良かったと言われるような地域を目指して頑張っていきたいと思っています。今後ともご支援、ご協力をお願いします。

●問合せ 市民協働推進課 コミュニティ支援係 Tel 75-4982

建物の名称	江南コミュニティセンター（至誠館）
所在地	吉井町新治 1063-1
電話番号	(0943) 75-4389 ※ファクスも同じ
役員等	[会長] 國武 確 [事務局長] 手島敏徳 [事務局員] 上村夏子
開館日時	月～金曜日 8:30～17:15
主な活動	4月:分館長会・福祉委員会 5月:各種教室開講・総会・映画鑑賞会 7月:ソフトバレーボール大会・料理教室 8月:子どもレク大会・カラオケ大会 9月:ゴルフ大会・音楽鑑賞会 10月:役員研修 11月:グラウンドゴルフ大会・一人暮らし高齢者交流会 12月:歳末助け合い活動・親子しめ縄作り 1月:年頭献血・新春講演会 2月:福祉・民生委員視察研修 3月:各種教室開校・自家菜園教室